

ほすびたる

No.726

平成30年 7 月20日
福岡県病院協会

C O N T E N S

会員広報 | 福岡県病院協会第 6 回定時会員総会 公益社団法人福岡県病院協会事務局 ①

退任にあたって 公益社団法人福岡県病院協会 前会長 石橋 達朗 ⑦

声 | 金融機関からみた 公益社団法人福岡県病院協会 参与 北村 啓 ⑧
医療経営について (株)西日本シティ銀行法人ソリューション部 部長

病院管理 | 開学40周年の産業医科大学病院 産業医科大学病院 尾辻 豊 ⑫
病院長

看護の窓 | 現任教育を大切にするために、 国立病院機構小倉医療センター 出口 由美 ⑭
わたくしが努めていること 教育担当師長

特別寄稿 | 脚気論争 (4) 国立病院機構九州がんセンター 岡村 健 ⑯
名誉院長

Letter | 時事管見…嘘、大嘘、 学校法人原学園原看護専門学校 学校長 朔 元則 ⑳
そして統計 ～その1 国立病院機構九州医療センター 名誉院長

Essay | 国の名前、自称と他称 元医療法人誠十字病院 安田 宏一 ㉒
平衡神経科 医師

人体旅行記 陰茎（その三） 国立病院機構都城医療センター 吉住 秀之 ㉓
副院長

■福岡県私設病院協会 平成 30 年 6 月福岡県私設病院協会の動き ㉔

■福精協の広場 医療法人新光会不知火病院 原 恭美 ㉕
「仲 間」 看護部長

■福岡県病院協会だより ㉗

■編集後記 岡嶋泰一郎 ㉟

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 江 頭 啓 介

専務理事	佐田 正之	理 事	津留 英智
理 事	原 寛	監 事	杉 健三
理 事	陣内 重三	監 事	松村 順
理 事	牟田 和男	事務局長	日比生英一

〒 811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

福岡県病院協会 第6回定時会員総会

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

日時 2018年6月26日(火) 17:00～
場所 ANAクラウンプラザホテル福岡
(福岡市博多区博多駅前3-3-3)
出席者 当日出席者 23名
委任状提出者 167名
計190名(総会員数 250名中)

■ 開会宣言

平祐二専務理事は、第6回定時会員総会開会を宣言。

■ 総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、総会員数250名に対し、出席者は委任状を含め190名と会員の過半数を超えており、定款第17条に照らし総会が適法に成立していることを報告。

■ 会長挨拶

石橋達朗会長挨拶。

■ 議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、一宮仁 国家公務員共済組合連合会浜の町病院病院長と深堀元文 医療法人社団益豊会今宿病院理事長兼院長を選出。

■ 議案審議 (岡嶋議長)

○ 第1号議案「平成29年度事業報告について」

平専務理事から、概ね次のように報告された。

I 総務関係 ～会員数について

入会者は7会員、退会者は4会員であり、この結果、同年度末現在の会員数は251会員である。

II 総会の開催状況

平成29年6月27日に第5回定時会員総会を開催し、平成28年度事業報告など5つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

また、平成30年3月27日に臨時会員総会を開催し、平成30年度事業計画など2

つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

III 理事会について

第44回から第53回まで計10回開催し、会務の執行に当たった(詳細は議案書に記載のとおり)。

IV 「ほすびたる」関係

編集委員会を計11回開催し、毎月20日に合計12回発刊した(詳細は議案書に記載のとおり)。

V 研修会・県民公開医療シンポジウム関係

1 各種委員会等の開催状況

看護、経営管理、栄養管理、リハビリテーション委員会をそれぞれ2回、臨床検査、診療情報管理研究、病院委員会をそれぞれ1回、企画委員会を3回開催した。また、平成29年12月5日に参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会を開催し、県民公開医療シンポジウムや各研修会について意見交換を行った。(詳細は議案書に記載のとおり)

2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

月別	研修会名	開催日	会場	参加者数
6月	第150回看護研修会	29. 6. 7	九州大学医学部百年講堂	110名
7月	第1回経営管理研究会	29. 7. 18	九州大学医学部百年講堂	164名
8月	第151回看護研修会	29. 8. 18	ナースプラザ福岡	335名
	第66回栄養管理研究会	29. 8. 19	九州大学医学部百年講堂	266名
9月	第11回県民公開医療シンポジウム	29. 9. 30	のがみプレジデントホテル	206名

10月	第55回診療情報管理研究研修会	29.10.11	九州大学医学部 百年講堂	211名
	第152回看護研修会	29.10.12 ～ 13	九州大学医学部 百年講堂	303名
	第1回リハビリテーション研修会	29.10.28	九州大学医学部 百年講堂	258名
2月	平成29年度病院研修会	30. 2. 5	九州大学医学部 百年講堂	136名
	第2回経営管理研究会	30. 2.15	九州大学医学部 百年講堂	244名
	第56回診療情報管理研究研修会	30. 2.22	九州大学医学部 百年講堂	208名
3月	第2回臨床検査研修会	30. 3.10	浜の町病院 講堂	76名
	第2回リハビリテーション研修会	30. 3.24	ナースプラザ 福岡	521名
	第117回医療事務研究会	30. 3.28	九州大学医学部 百年講堂	265名

Ⅵ その他の事項

例年の事項であるが、四県病院協会連絡協議会に参加し意見交換したほか、「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を1年間更新した。（詳細は議案書に記載のとおり）

以上、第1号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第2号議案「平成29年度収支決算について」

1 平成29年度収支決算

澄井財務理事から、平成30年3月31日現在における貸借対照表、当期における正味財産増減計算書及び同内訳表等に基づき説明があった。なお、「貸借対照表」及び「平成29年度正味財産増減計算書内訳表」は、次頁のとおりである。

2 監査報告

津田監事による当期の計算書類が適正に処理されており事業報告も適正である旨の監査報告について、平専務による代読が行われた。

以上、第2号議案については、全員の拍手を

もって承認された。

○ 第3号議案「任期満了に伴う役員の改選等について」

平専務理事は、現在の理事、監事、議長及び副議長の全員が本定時会員総会の終結と同時に任期満了し、退任することとなるので、新たに選任する必要がある、5月25日付で、全会員あてに立候補届及び推薦届の提出を依頼したところ、締切日の6月11日までに、理事には赤司浩一九州大学病院病院長ほか計25名が、監事には小柳左門社会医療法人原土井病院病院長ほか計3名が、議長には岡嶋泰一郎社会保険仲原病院院長が、副議長には梅野守男早良病院院長がそれぞれ立候補され、いずれも定款に定める定数以内であることを説明した。

なお、本総会において選任された場合、任期は、本日の総会終了後から平成32年度の定時会員総会の終結時までとなる旨を補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、選任手続きに入った。議長は、定款第17条第3項の規定に基づき、「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに行わなければならない」ことを説明のうえ一人ずつ決議する旨を述べ、候補者ごとに賛成者の拍手を求めたところ、赤司浩一候補者ほか計25名の理事候補者全員が、過半数を超える拍手により選任された。

次に議長は、監事の選任に移り、同様にして、小柳左門候補者ほか計3名の監事候補者全員が、過半数を超える拍手により監事に選任された。

さらに、議長は議長及び副議長の選任に移り、同様にして、岡嶋泰一郎候補者が議長に、梅野守男候補者が副議長に選任された。

続いて、本議案の後半部分である退任予定者

への顧問委嘱案の審議に入った。平専務理事は、今期で退任する石橋会長、岡留理事及び上野総務理事の顧問就任について、会員総会の議決を求めた。議長が順に議場に諮ったところ、全員の顧問就任が全員の拍手により承認可決された。

○ 第4号議案「異動に伴う参与の委嘱について」

平専務理事は、推薦団体の人事異動により、新たに推薦のあった北村啓西日本シティ銀行法人ソリューション部長に関し、前任者の残任期間である2019年6月末までを任期とする参与の委嘱について、会員総会の承認を求めた。

貸借対照表
(2018年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,567,114	2,117,223	3,449,891
普通預金（福岡銀行赤坂門支店）	1,663,043	1,617,121	45,922
定期預金	500,071	500,000	71
郵便振替	3,404,000	102	3,403,898
未収会費	200,000	400,000	- 200,000
未収金（広告料）	20,000	20,000	
前払金		832,700	- 832,700
流動資産合計	5,787,114	3,369,923	2,417,191
2 固定資産			
基本財産			
特定資産			
退職給与積立金	5,539,689	5,540,314	- 625
財政調整積立金	9,000,000	10,000,000	- 1,000,000
退職給与積立金（定期）	306,000		306,000
固定資産合計	14,845,689	15,540,314	- 694,625
資産の部合計	20,632,803	18,910,237	1,722,566
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	247,698	140,587	107,111
前受金	4,467,500	433,900	4,033,600
会 費	4,200,000	100,000	4,100,000
広告料	267,500	333,900	- 66,400
預り金	319,777	254,297	65,480
社会保険料	190,465	70,352	120,113
雇用保険料	35,522	48,055	- 12,533
源泉所得税	63,790	75,890	- 12,100
その他	30,000	60,000	- 30,000
流動負債合計	5,034,975	828,784	4,206,191
2 固定負債			
退職給与引当金	11,326,810		11,326,810
固定負債合計	11,326,810		11,326,810
負債の部合計	16,361,785	828,784	15,533,001
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	4,271,018	18,081,453	- 13,810,435
正味財産の部合計	4,271,018	18,081,453	- 13,810,435
負債及び正味財産合計	20,632,803	18,910,237	1,722,566

正味財産増減計算書内訳表（抜粋）

（2017 年 4 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日）

（単位：円）

科 目 名	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合 計
	シンポジウム	研 修	公益共通	小 計	機関紙	研究会	収益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常収益										
(1) 経常収益										
特定資産運用益									12,469	12,469
受取入会金			35,000	35,000					35,000	70,000
受取会費			4,399,675	4,399,675			1,885,575	1,885,575	6,285,250	12,570,500
事業収益	930,000	8,808,000		9,738,000	1,318,000	2,149,500		3,467,500		13,205,500
受取補助金等	625,000	1,875,000		2,500,000	2,888,000	722,000		3,610,000		6,110,000
雑収益		14,500		14,500		6,000		6,000	453	20,953
経常収益計	1,555,000	10,697,500	4,434,675	16,687,175	4,206,000	2,877,500	1,885,573	8,969,075	6,333,172	31,989,422
(2) 経常費用										
事業費	4,355,633	15,650,767		20,006,400	7,392,118	1,512,005		8,904,123		28,910,523
管理費									5,810,020	5,810,020
経常費用計	4,355,633	15,650,767		20,006,400	7,392,118	1,512,005		8,904,123	5,810,020	34,720,543
特定資産評価損益等									-8,634	-8,634
当期経常増減額	-2,800,633	-4,953,267	4,434,675	-3,319,225	-3,186,118	1,365,495	1,885,575	64,952	514,518	-2,739,755
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
(2) 経常外費用										
特別経過済退職給与引当金	1,983,723	5,907,085		7,890,808	936,758	330,620		1,267,378	1,862,494	11,020,680
当期経常外増減額	-1,983,723	-5,907,085		-7,890,808	-936,758	-330,620		-1,267,378	-1,862,494	-11,020,680
税引前当期一般正味財産増減額	-4,784,356	-10,860,352	4,434,675	-11,210,033	-4,122,876	1,034,875	1,885,575	-1,202,426	-1,397,976	-13,810,435
法人税、住民税及び事業税									50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	-4,784,356	-10,860,352	4,434,675	-11,210,033	-4,122,876	1,034,875	1,885,575	-1,202,426	-1,397,976	-13,810,435
一般正味財産期首残高	-10,308,322	-10,133,375	20,380,100	-61,597	-8,676,279	4,996,686	3,770,230	90,637	18,052,413	18,081,453
一般正味財産期末残高	-15,092,678	-20,993,727	24,814,775	-11,271,630	-12,799,155	6,031,561	5,655,805	-1,111,789	16,654,437	4,271,018
II 指定正味財産増減の部										
III 正味財産期末残高	-15,092,678	-20,993,727	24,814,775	-11,271,630	-12,799,155	6,031,561	5,655,805	-1,111,789	16,654,437	4,271,018

議長が議場に諮ったところ、全員の拍手をもって承認可決された。

■ 議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

■ 総会終了

平専務理事から、議長に対する謝辞と閉会を開催する旨が述べられ、第 6 回定時会員総会は滞りなく終了した。

■ 臨時理事会

会長等の選出を行うため、総会終了後直ちに、新役員による臨時理事会を開催した。（理事総数 25 名中、出席理事 18 名。出席監事 2 名）
前専務理事の平理事が暫定議長となり、本理事会は理事及び監事全員の同意があったので、招

集の手続きを経ることなく開催する旨宣言し、開会した。また、本理事会は定款第 32 条第 1 項に定める定足数を満たしており、適法に成立していることを告げ、次の議案の審議に入った。なお、第 1 号議案の審議終了後、議長は新会長に引き継がれた。

○ 第 1 号議案「代表理事（会長）の選定について」

○ 第 2 号議案「副会長、業務執行理事等の選定について」

○ 第 3 号議案「各種委員会担当理事の選定について」

審議の結果、赤司浩一理事が代表理事（会長）に選定されたほか、「役員等名簿」記載のとおり決定された。

公益社団法人 福岡県病院協会 役員等名簿
(役員任期：2018年6月26日～2020年度定時会員総会終結時)

役職名	氏 名	所属病院及び役職
会 長	赤 司 浩 一	九州大学病院 病院長
副 会 長	八 木 実	久留米大学病院 病院長
〃	尾 辻 豊	産業医科大学病院 病院長
〃	井 上 亨	福岡大学病院 病院長
〃	竹 中 賢 治	福岡市立病院機構 理事長 兼 福岡市民病院 名誉院長
専務理事	平 祐 二	医療法人原三信病院 理事長 兼 院長
総務理事	岩 永 知 秋	国立病院機構福岡病院 院長
財務理事	澄 井 俊 彦	国立病院機構小倉医療センター 病院長
企画理事	壁 村 哲 平	済生会二日市病院 院長代行
理 事	安 藤 文 英	医療法人西福岡病院 理事長
〃	一 宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 病院長
〃	伊 東 裕 幸	宗像医師会病院 病院長
〃	江 頭 啓 介	医療法人社団江頭会さくら病院 理事長 兼 院長
〃	小 嶋 享 二	福岡県立精神医療センター太宰府病院 院長
〃	島 弘 志	社会医療法人雪の聖母会 常務理事 兼 聖マリア病院 病院長
〃	津 留 英 智	医療法人社団水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	寺 坂 禮 治	福岡赤十字病院 院長
〃	平 城 守	公立八女総合病院 企業長 兼 院長
〃	深 堀 元 文	医療法人社団益豊会今宿病院 理事長 兼 院長
〃	前 原 喜 彦	公立学校共済組合九州中央病院 病院長
〃	増 本 陽 秀	飯塚病院 院長
〃	松 浦 弘	済生会福岡総合病院 院長
〃	森 田 茂 樹	国立病院機構九州医療センター 病院長
〃	横 倉 義 典	ヨコクラ病院 院長
〃	吉 田 正	地方独立行政法人筑後市立病院 理事長 兼 院長
監 事	小 柳 左 門	社会医療法人原土井病院 病院長
〃	原 寿 郎	福岡市立病院機構福岡市立こども病院 病院長
〃	吉 村 恭 幸	福岡県社会保険医療協会 会長 兼 社会保険田川病院 名誉院長
議 長	岡 嶋 泰一郎	社会保険仲原病院 院長
副 議 長	梅 野 守 男	早良病院 院長
顧 問	今 泉 暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃	河 野 正 美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃	瓦 林 達比古	福岡大学 名誉教授
〃	久 保 千 春	九州大学 総長
〃	石 橋 達 朗	九州大学 理事 兼 副学長
〃	岡 留 健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	上 野 道 雄	国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長

第154回 看護研修会のご案内

テ ー マ 「臨床におけるリーダーシップ」

開 催 日 平成30年8月17日（金） 9：20～16：00

場 所 九州大学医学部百年講堂 1F 大ホール（福岡市東区馬出3丁目1-1）

受 講 料 会 員 病 院 1人につき 3,500円
会 員 外 病 院 1人につき 5,000円

参加申込
締 切 日 平成30年8月3日（金）

講 演 I 「現場の臨床実践を高めるための中堅看護師のリーダーシップ」
筑波大学医学医療系国際看護学 教授 竹熊 カツマタ 麻子

講 演 II 「看護管理に活かすコンピテンシーの理解と発揮に向けた取り組み」
東京大学医科学研究所附属病院 看護部長 小林 康司

第67回 栄養管理研修会のご案内

テ ー マ 「高齢者の栄養管理」
～高齢者の特に気になる疾患－糖尿病・低栄養・消化器がん～

開 催 日 平成30年8月18日（土） 10：00～16：30

場 所 福大メディカルホール（福岡市城南区七隈7丁目45-1）

受 講 料 会 員 病 院 1人につき 3,500円
会 員 外 病 院 1人につき 5,000円

参加申込
締 切 日 平成30年7月31日（火）

講 演 I 「高齢者の糖尿病における血糖コントロール（新基準をめぐって）」
二田哲博クリニック姪浜 院長 下野 大 先生

講 演 II 「低栄養と水分管理」
社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 霧 知光 先生
臨床・教育・研究本部長

講 演 III 「消化器癌の栄養管理」
久留米大学病院 消化器内科講師 川口 巧 先生

*上記お問合せは福岡県病院協会事務局(TEL 092-436-2312/E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp)
までお願いいたします。

退任にあたって

公益社団法人 福岡県病院協会

前会長 石橋 達朗



1950 年、全国に先駆けて設立され、長い歴史と伝統を持つ福岡県病院協会は、地域医療の向上や県民の健康増進に寄与する活動を行っています。私は 2014 年から 4 年間、この協会の会長職にあり、この 6 月で退任いたしました。県内の大学病院、公的病院、私設病院、250 以上の病院の院長が構成メンバーである協会では、県内の医療全般の問題のみならず、全国の医療に関する重要な課題が検討、議論されました。この協会の活動で中心的な役目を担っておられる理事の先生方、その中でも五役会の先生方には大変お世話になりました。私はこれらの方々のお蔭で 4 年間の職務を無事果たせたことを、心から感謝いたしております。

月1回開催される理事会では、協会の活動の一つである医療に係る多職種の技能の向上や情報の共有を図る各種の専門委員会や研修会の報告や討議がなされますが、他にも最近の医療情勢や病院の持つ課題などについて意見交換を行いました。その中では、地域医療構想、エボラ出血熱、診療情報ネットワーク(とびうめネット)、医療事故調査制度、専門医研修制度、消費税、診療報酬改訂、医師の働き方改革などについて、情報提供があり、皆で議論し、情報共有を行いました。私自身も多岐にわたって興味ある勉強をすることが出来ました。

2007 年から毎年行っている県民公開医療

シンポジウムも特筆できる企画です。私の在任中は 2014 年、福岡市で「女性が健康であるために～乳がん・子宮がんの予防と早期発見～」、2015 年、久留米市で「医と食と～健康被害とアレルギー」、2016 年、福岡市で「健康と最近の話題」、2017 年、飯塚市で「知って得する肝臓病の話」というタイトルで、開催されました。担当される理事の先生方の企画準備は大変ですが、県民の医療情報意識の向上と正確な情報を認識するのに大いに役立っていると考えられ、協会の重要な活動の一つとして今後も継続されることが望まれます。

また協会設立3年後の 1953 年から続いている機関誌「ほすびたる」の発刊には編集委員長の岡嶋泰一郎先生のご尽力のお蔭で、医療に係る医師、看護師を始めとする多くの専門職の方々に、自由に個々の思いや経験を投稿していただいています。岡嶋先生の編集後記はいつも読み応えがありました。

時代の急速な変化と共に医療の世界も次々と進歩、変化していく中で、多職種の協力と連携は今まで以上に重要になっており、将来にわたって、福岡県病院協会の果たす役割は大きくなるものと確信しています。今後の4年間、赤司浩一会長のもと、本協会が更に発展されますことを、こころからお祈り申し上げます。4 年間、有り難うございました。



金融機関からみた医療経営について

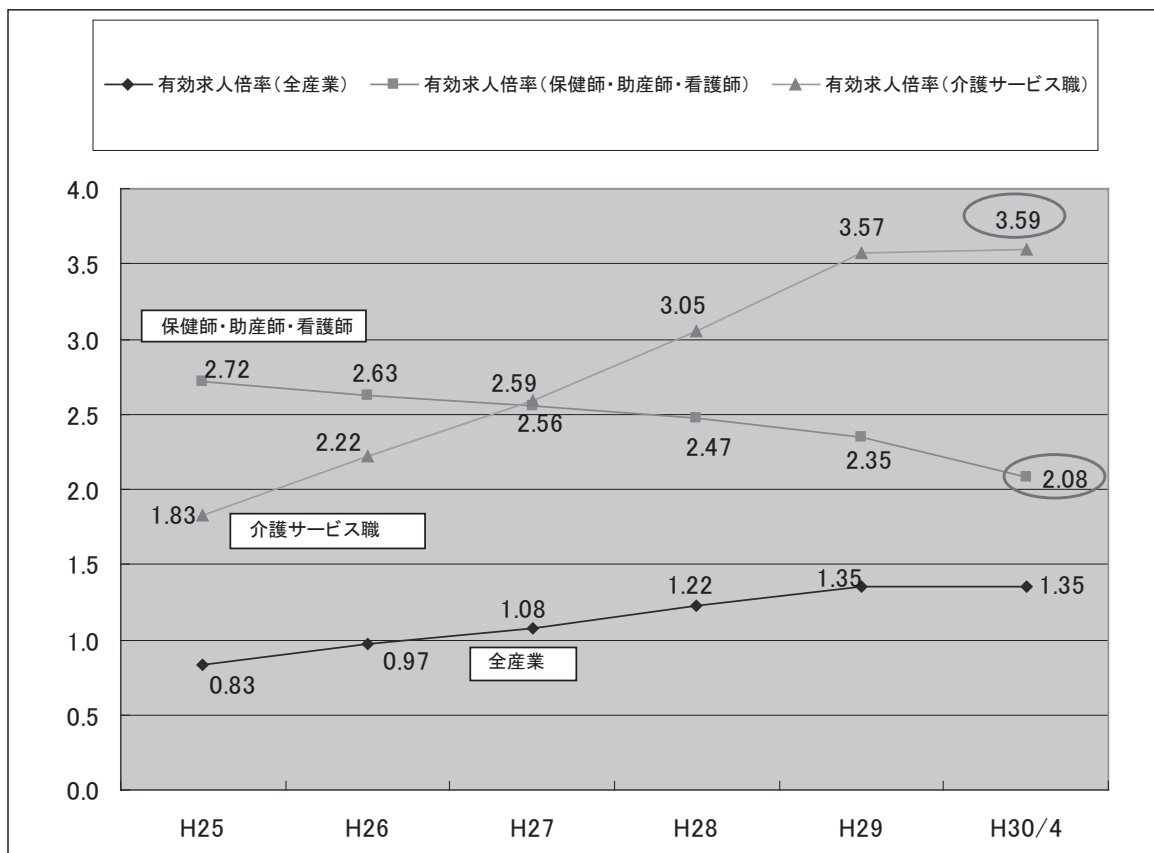
公益社団法人 福岡県病院協会 参与 北村 啓
(株)西日本シティ銀行法人ソリューション部 部長

現在、日本では超高齢化が急速に進み、医療機関を取り巻く環境はめまぐるしい変化を見せています。社会保障費の伸びについても毎年 5,000 億円にとどめる財政健全化の議論が始まるなど、これまで通りの負担では財政的にも困難な状況となっております。団塊の世代が後期高齢者になる「2025 年」、高齢者数がピークを迎える「2040 年」を見据えて、「医療機関同士の機能分担」や「医療と介護の連携」など医療提供体制の再構築が進みはじめています。また、地域によっては人口減少とともに人手不足と患者減少が同時に進んでい

るといった課題も見受けられるようになっております。(下記図 1 の有効求人倍率推移をご参照下さい)

また、2017 年 6 月に政府は「未来投資戦略 2017」の中でヘルスケア分野において、次項(図 2)の戦略を公表しています。主に「2025 年問題」に間に合うよう、技術革新を最大限活用し、最適な健康管理と診療、自立支援に軸足を置いた介護など、「新しい健康・医療・介護システム」を構築する内容となっております。

図 1 有効求人倍率の推移(職種比較)



※厚生労働省「職業安定業務推計」より作成

図2 未来戦略2017 | .Society5.0に向けた戦略分野

健康寿命の延伸
【データ利用活用基盤の構築】
・現在バラバラになっている健康・医療・介護データを個人個人が生涯にわたって一元的に把握できる仕組みの構築【2020年度から本格稼働】
【保険者・経営者による「個人の行動変容の本格化」】
・保険者に対する予防インセンティブ強化（後期高齢者支援金の加算・減算率の引上げ等） ・各保険者の取組状況（加入者の健康状態・医療費・健康への投資状況等）の見える化（成績表）と経営者への通知。健康経営による生産性の向上。
【遠隔診療、AI開発・実用化】
・かかりつけ医による対面診療と組み合わせた効果的・効率的な遠隔診療の促進 ・AI開発、実用化の促進（AI開発用のクラウド環境の整備・認証等） ・AIを用いた医師の診療の的確な支援
【自立支援に向けた科学的介護の実現】
・データ収集・分析のデータベース構築【2020年度の本格運用開始を目指す】 ・効果のある自立支援の促進 ・介護ロボット等の導入促進
【革新的な再生医療等製品等の創出促進、医療・介護の国際展開の促進】

※内閣官房日本経済再生総合事務局 公表資料より一部抜粋

今後の診療報酬・介護報酬改定に反映させる等、医療経営にも大きな影響があるものと想定されます。

こうした外部環境・今後の動向を予測し、「持続的な医療提供」を行うためには、これまで以上に「医療経営」を意識し、目指すべき法人の方向性（あるべき姿）を明確にすることが重要になると考えられます。

今回、「医療の経営」について考えていきたいと思いますが、医療は一般企業の経営とは大きく異なります。医療法人は非営利性を原則としており、利益や配当を生み出すことが事業の目的ではありません。一方で、「質の高い医療」を提供するためには、人材を集め、組織を効率的に機能させ、次の展開を行うための蓄え（内部留保）をつくることも求められます。

そこで、病院を中心とした医療経営に関する視点を改めて整理してみたいと思います。医療機関の皆さまと私ども金融機関が一緒になって、将来

の方向性を議論する参考材料の一つとなれば幸いです。

まず初めに「病院の特性」について見ていきたいと思います。（図3）

図3 金融機関からみた病院の特性

1. 法的規制が多い
① 人員配置基準 ⇒ 労働集約型産業、働き方改革の推進 ② 構造設備基準 ⇒ 装置産業
2. 収入が安定（変動が少ない）
① 診療報酬 ⇒ デフォルト率が少ない ② 公定価格 ⇒ 価格競争が無い ③ 商圏が小規模で固定 ⇒ 受給変動が少ない
3. その他、経営基盤における特徴
① 同族経営 ⇒ 理事長に権限集中、後継者問題 内包 ② マネジメントスタッフが少ない ⇒ 管理組織が手薄 ③ 小規模事業所が多い ⇒ 1法人1病院が多い ④ 医療は非営利という認識 ⇒ 財務よりも医療サービス質向上に関心が強い ⑤ 人件費比率50%超 ⇒ 他業種と比較して労働生産性が低め

「法的規制が多い」こと、「収入が安定している」こと、「その他経営基盤面」の3つに大きく分けて整理してみました。記載の通り、人員配置基準の法的規制があるため、病院費用において人件費がその50%以上を占める費用構造となっております。また多くの専門職能集団で形成され、「医療は非営利」との意識が強いため、結果として「財務 < 医療サービスの質」となる考えが強いように感じられます。

最近のトピックスでは、残業規制が盛り込まれた「働き方改革」は医師も規制の対象となることとなりました。既に残業時間についての労働基準監督署の監査により是正勧告が出されている病院もあるようですので、労務管理が重要な課題として捉えていく必要があると思われます。

その他では継続的なサービス提供のために、医療機器導入、病棟建替え等、多額の設備投資（借入）が必要となることも大きな特性の一つであることが伺えます。

次に、「病院の資金ニーズ」について見ていきます。(図4)

図4 金融機関に対する資金ニーズ

1. 設備投資資金
① 病棟の建替え（改修）… 老朽化（耐震化）、病床（介護施設）転換
② 介護施設建設 … 特養、グループホーム、有料老人ホーム（サ高住）
③ 医療機器導入 … 放射線機器、透析機器
④ ICT化、遠隔診療、ロボット等活用 … 電子カルテ、オーダーリングシステム等の機器導入
⑤ その他 … M&A（買収）資金、看護師寮建設、院内保育園開設
2. 経営改善資金
① CF（キャッシュフロー）適正化
② BS（バランスシート）適正化
3. 医業承継（医療法人制度）対策資金
① 理事長（役員）退職金
② 後継者に対する出資持分買取り資金
③ 出資持分払戻し資金、みなし贈与（持分無し移行）
4. 季節資金
① 賞与資金、② 納税資金など

病院の資金ニーズについては大きく4つ、「設備投資資金」、「経営改善資金」、「医業承継対策資金」、「季節資金」に分類しました。1.－①「病棟

建替え・改修」、4.－①「賞与資金」については既に資金調達をご利用された病院様も多いかと思われます。その他では昨今の「働き方改革」の推進に伴い、院内保育所（企業主導型保育所含む）の設置のニーズも増えているのではないかと考えられます。3.の「医業承継対策」については今後も増加していくものと想定しております。

そのような各種資金ニーズに対して金融機関としては実際のお金の流れを把握するために、CF＝キャッシュフロー（税引前経常利益＋減価償却費）の言葉をよく使用します。特に長期資金調達の場合には、CFから現在、または将来における債務（借入）を何年で償還（返済）可能であるかを見ていくことになります。

設備投資（建替え・医療機器）、働き方改革を踏まえた人材確保（医師・看護師ほか）など、「将来のイベントに対応できるCFを確保」することと、「医療サービスの質の確保」することは、経営の両輪であると考えております。

最後に、「地域医療構想」について見ていきます。(図5)

図5 福岡県 地域医療構想

	高度急性期			急性期			回復期			慢性期		
	2016年	2025年 必要 病床数	増減数	2016年	2025年 必要 病床数	増減数	2016年	2025年 必要 病床数	増減数	2016年	2025年 必要 病床数	増減数
福岡・糸島	4,390	2,958	▲ 1,432	7,397	7,751	354	2,653	6,235	3,582	5,072	4,032	▲ 1,040
粕屋	93	219	126	1,351	777	▲ 574	228	1,333	1,105	2,000	1,077	▲ 923
宗像	14	82	68	672	458	▲ 214	251	679	428	798	460	▲ 338
筑紫	391	409	18	1,690	1,274	▲ 416	382	1,499	1,117	1,507	922	▲ 585
朝倉	6	62	56	481	364	▲ 117	147	462	315	501	302	▲ 199
久留米	1,193	849	▲ 344	2,909	2,095	▲ 814	1,030	1,939	909	2,500	1,203	▲ 1,297
八女・筑後	4	148	144	913	668	▲ 245	340	627	287	728	365	▲ 363
有明	78	172	94	1,654	812	▲ 842	761	1,216	455	1,889	1,263	▲ 626
飯塚	123	304	181	1,670	862	▲ 808	600	661	61	740	653	▲ 87
直方・鞍手	0	51	51	543	294	▲ 249	232	471	239	475	378	▲ 97
田川	36	61	25	730	290	▲ 440	207	473	266	472	302	▲ 170
北九州	2,198	1,883	▲ 315	6,776	5,296	▲ 1,480	2,527	4,825	2,298	5,434	4,062	▲ 1,372
京築	30	119	89	658	373	▲ 285	191	703	512	936	610	▲ 326
県合計	8,556	7,317	▲ 1,239	27,444	21,314	▲ 6,130	9,549	21,123	11,574	23,052	15,629	▲ 7,423

※「福岡県 地域医療構想」より作成

ご存知の通り、福岡県の地域医療構想を見ていくと、機能別では高度急性期、急性期、慢性期では、必要病床数が病床機能報告数を下回る一方、回復期では必要病床数が病床機能報告を大幅に上回る結果となっております。私どもはこの地域医療構想のデータと各病院の病床機能報告を踏まえ、将来の医療・介護の需要推計を分析し、地域における医療機関の立ち位置を一緒になって考えていく必要があると考えております。

私ども西日本シティ銀行では法人ソリューション部内にヘルスケアチームを配置し、「医療機関は地域において最も重要なインフラである」との認識のもと、福岡県内を中心に九州・その他の地域で営業活動を行っております。「事業戦略支援」「経営改善支援」「医業承継支援」等、経営課題解決サポート通じ、地域医療の発展に微力ながら貢献させていただきたいと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。





「安心・安全・清潔」 未来を見つめて...


太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 **中島 健介**


医療関連
サービスマーク認定

事業内容：医療介護福祉の総合提案企業

- 医療機関等への寝具・病衣・白衣等のリース及び洗濯
- メンテナンス付マットレスのリース・レンタル
- 衣類(私物)の洗濯
- 紙オムツの販売及び大人用布おむつのリース及び洗濯
- タオル・オシボリのリース及び販売
- 産業廃棄物の収集運搬
- 病院用ベッド及び医療家具のリース及び販売
- テレビ・ランドリーのリース及び販売

太陽セランドグループ会社

太陽シルバースervice株式会社 ジャパンエアマット株式会社 太陽ホテルリネン株式会社 株式会社メディカルナビケーション 株式会社セランド 株式会社北九州シーアイシー研究所 株式会社おたふく屋 株式会社サンウエックス	〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田585-1 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5 〒812-0063 福岡県福岡市東区原田4-17-25 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5 〒802-0979 福岡県北九州市小倉南区徳力新町1-25-22 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200	TEL:0946-21-4700 FAX:0946-21-4701 TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701 TEL:092-624-1321 FAX:092-624-1323 TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672 TEL:093-961-0581 FAX:093-961-0009 TEL:0947-46-2029 FAX:0947-46-2101 TEL:0947-42-3215 FAX:0947-42-3217 TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445
--	--	--

開学40周年の産業医科大学病院

産業医科大学病院
病院長

尾辻 豊

産業医科大学は1978年（昭和53年）4月に開設されました。旧労働省の方針により、「労働者の健康を守る産業医学を発展させる」ことを建学の精神とする大学が設置されました。全国各地から誘致があり、関西地区と北九州地区に絞られ、地方を活性化させる方針の日本列島改造計画に合致するということが当時の田中角栄首相が「ヨッシャ！北九州だ」と言って決定したと聞いています。今年が開学40周年です。産業医科大学病院は翌年の1979年7月から300床で診療を開始しました。現在は北九州地区唯一の大学病院そして特定機能病院として幅広く質の高い医療・教育を提供しています。本院は678床を有し、外来には1日1274名の患者さんが来られ、入院患者さんは平均577名・年間入院総数16,046名で、年間手術室稼働件数は6,918件です。立地する北九州市八幡西区は、30分圏域に45万、二次医療圏に110万の人口を有し、多くの人々の健康増進に貢献する使命を持っています。1979年の診療開始以来、多くの職員・支援者の努力で徐々に発展し、近年では北九州地区で最も多くの悪性腫瘍症例の診療を行っています。若松地区分院は2011年に診療を開始しました。150床を有し、外来には1日382名の患者さんが来られ、入院患者さんは平均121名・年間入院総数3,002名で、年間手術室稼働件数は1,482件です。地域診療へ貢献すべく改革に取り組んでいます。

課題も多く、昨今の診療は一つの施設で完結することはありません。地域の病院・クリニック・諸施設の方々と連携をとりながら患者さん一人一人に包括的な診療を提供する必要があります。

ます。病診連携・病々連携等に取り組み、地域のみなさまに貢献できるように努力しています。診療の質改善が最優先課題ですが、これの中心となるのは優れた職員の採用・育成であり、医療安全活動です。安全活動は診療の根幹であるという文化を根付かせるべく多くの職員が地道な努力を続けています。高度医療の推進が大学病院の使命ですので、新しい技術・機器の導入を積極的に行っています。今年は大ピンチ手術を導入し、順調です。本学の使命は産業医学への貢献です。就労と治療（診療）の両立支援が国策として推進されています。当院では就学・就労支援センターに加え、全国初の診療科「両立支援科」を2018年1月に設置しました。当院の産業医が診療科長です。質の高い両立支援ができるように頑張っているところです。また、医療の基本は人と人の相互信頼行動です。患者さんは身体的回復と精神的癒し・勇気付けを求めており、単なる技術や知識・薬・手術だけを病院に求めている訳ではありません。患者さんに優しいより良い医療を提供できるような病院作り・職員育成が重要です。高齢化・人口減少に伴い益々医療環境が悪化すると予想され、当院にも課題が次々出てくると考えられます。病院も築39年となり、老朽化・狭隘化が増えています。このように様々な課題に取り組む必要があります。

このような中で昨年は南別館（放射線治療等）新築に着工しました。次は本館の耐震工事です。その次は急性期診療棟新築です。この一連の工事は2023年まで続きます。産業医科大学のキャンパスは比較的広く（写真1）、敷地



写真1 大学キャンパス

内にまむし山（グラウンドからの標高 10m）と龍ヶ池があります。2023 年に一連の工事が終了すると（図2 の南別館と急性期診療棟が新

設）、まむし山は高さ 1m ぐらいの広場になります。産業医科大学は開学以来の第二の創成期に入ったと言えます。産業医科大学や病院の将来のために英知を結集するべく奮闘中です。

このように課題は山積しています。私のような元々は僧帽弁の心エコー画像を見ることが何より楽しみだった人間が病院のマネージメントをちゃんとできるのか？不安もありますが健康に気を付けてベストを尽くすのみです。当院の理念「患者第一の医療」「安全かつ質の高い医療」「人間愛に徹した医療人の育成」を根幹として、地域に欠かせない病院・職員や卒業生の誇りとなる病院となることにチャレンジします。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

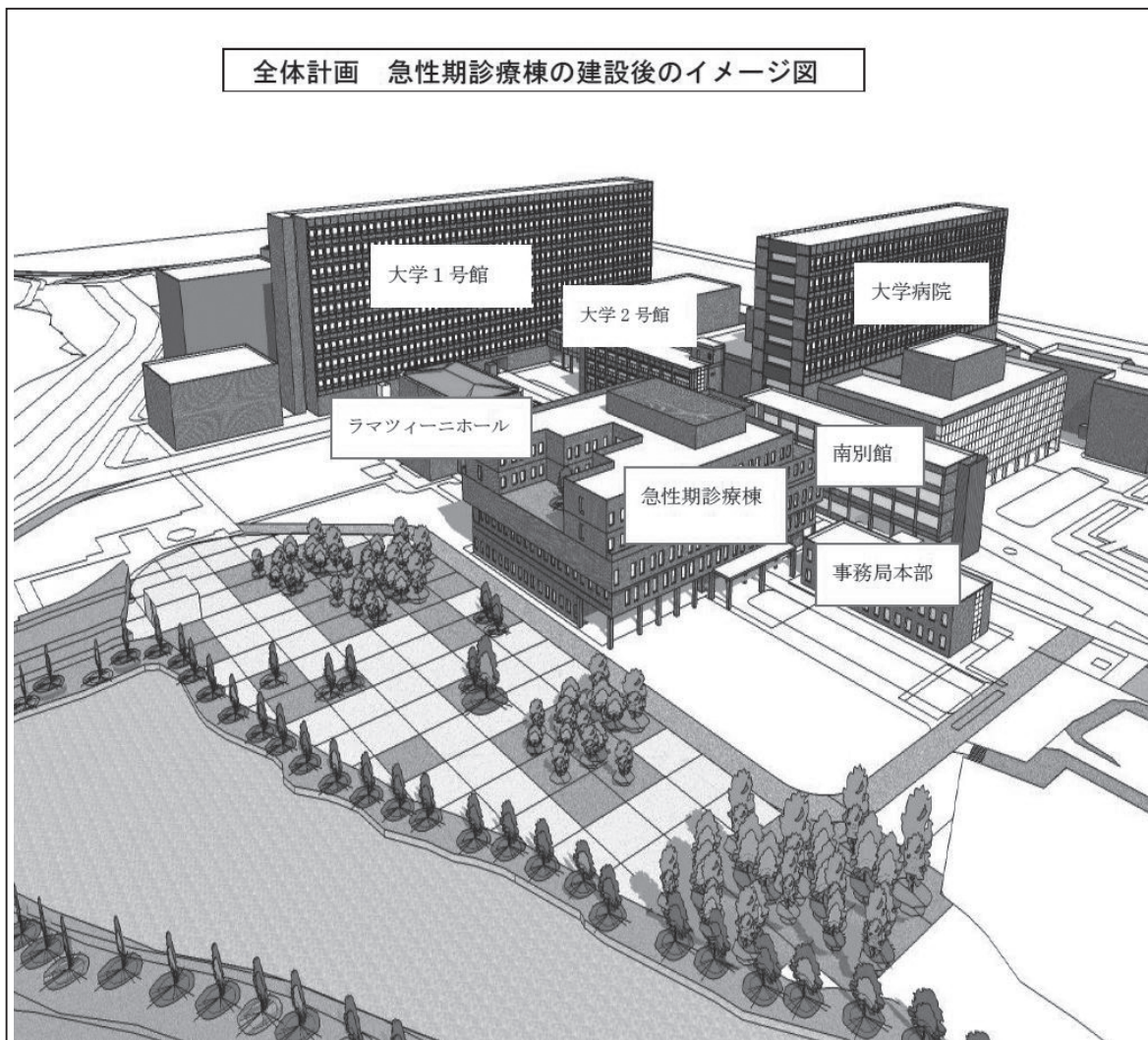


図2



現任教育を大切にするために、 わたくしが努めていること

国立病院機構 小倉医療センター
教育担当師長

出口 由美

国立病院機構 小倉医療センターは、政策医療（がん、肝臓疾患、精神疾患）に特化し、成育医療、内分泌代謝、骨・運動器を診療科に加え、地域に密着した診療機能を展開しております。平成 29 年からは、地域包括ケア病棟を開設し、在宅復帰にむけた退院支援のため、院内・院外の人々との連携に一層努めております。

当院看護部教育では、地域の医療保健福祉のニーズに応え、生活を看ることができる看護職者の育成支援をするため、教育プログラムを運用しております。教育プログラムの企画で、わたくしが大切にしていることは、チーム医療の看護職者として向き合えることに、専門職業人としての喜びを感じられるように支援することです。この支援に必要なことは、看護の実践過程を仲間と一緒に、リフレクションする『タイミングと場』です。リフレクションには、学習内容とそれを支援した人材が必要となります。しかし、医療の現場は目まぐるしく、現任教育の成果を見出せないまま時間が過ぎ、リフレクションする『タイミングと場』をつくる難しさもあります。

現任教育を大切にできる仲間づくりを維持するために、どのように取り組んでいったらいいのか、教育担当師長の役割遂行に日々試行錯誤しております。

さて、国立病院機構では、平成 18 年度より能力開発プログラムを作成し、各病院が互換性のあるプログラムを活用することで、看護職員のキャリア形成を支援して参りました。そして平成 29 年度には、変動する医療の動向に対応し、地域のニーズに応えられる質の高い実践

能力と、看護を言語化できる能力を持つ看護職員の育成を目指したプログラムに改訂されました。当院の集合教育では、『地域医療構想に対応できる看護』『意思決定支援』『成育医療における看護』を視点に、キャリアラダーのレベルに応じた教育プログラムに再編成いたしました。

ここで、集合教育の一部を紹介します。

キャリアラダーレベルⅢを目指した卒後 3 年目程度の看護職員には、訪問看護ステーションでの院外研修を取り入れました。この研修目的は、地域と切れ目のない看護支援を実践するために、卒後 3 年目の看護職員のキャリアで、地域包括システムの連携における看護の課題に、どう取り組むのかを考えることです。卒後 3 年目の看護職員のキャリアでは、生活者として対象と向き合うことは、病院内の研修だけでは難しいことのようにです。院外研修のカンファレンスでは、いま一般的にいわれている地域医療における看護、介護の課題と照らし合わせて体験したことを振り返ることを重視しています。研修生は、新聞やニュース、専門雑誌等でいわれていることを改めて考え直し、当院での看護職者の役割について意見を述べるようになります。院外カンファレンスでの様子や事後課題での学習成果を当院の支援者らに見せると、「初めて訪問したのに、本人だけでなく家族のこれから考えた意見が言えるようになっていきます。うれしい。発言していることを実現できるように、サポートします」と、異口同音に言います。これこそが、当院の看護職員の成長をわかち合える貴重な『タイミングと場』です。わ

【教育理念】

専門職業人として看護の専門性を追求し、地域住民から信頼される質の高い看護を提供できる助産師・看護師を育てる。

【教育目的】

国立病院機構小倉医療センターおよび看護部の理念・目標にそって看護を実施し、当院に機能付与された政策医療（がん、肝疾患、精神疾患）、機能付与されていないが強化している政策医療（成育、内分泌代謝疾患、骨・運動器）に対応できることをならいとし、判断力と実践能力を身につけ質の高い看護が提供できる人材を育成する。

【教育目標】

1. 社会人として基本的姿勢や態度を身につけ、病院職員や看護部の一員として活動できる看護職員を育成する。
2. 患者のニーズを理解し、対象の意思決定を尊重した患者・家族中心の看護実践ができる看護職員を育成する。
3. 看護師として必要な看護実践能力を養い、常に自己成長を目指す看護職員を育成する。
4. 組織およびチームのなかでの役割を認識し、地域に貢献できる看護職員を育成する。

小倉医療センター

能力開発プログラムと自己の能力開発（院内研修・委員会活動）イメージ図

コンプレックスな看護に向かうステップアップ	レベルⅤ	専門性の発揮、管理、教育的役割モデルとなり、研究への取り組みができる。
		研究会等：師長研究会 副師長研究会 幹部看護師任用候補者選考研修委員会活動（他部署との連携学習会等の企画・運営・評価）
	レベルⅣ	後輩の学習を支援する。 チームリーダーとしての役割行動がとれる。
		人材育成 がん看護 小児看護 家族看護 精神・リエゾン 看護研究委員会活動（自部署のメンバーへの指導・支援）
	レベルⅢ	個別性を重視した看護を実践する。 看護実践者として、後輩に指導的役割を果たせる。
		卒後3年目程度研修（実務Ⅰ後期） プリセプター 委員会活動（自部署のリーダーまたはメンバーとしての活動）
	レベルⅡ	根拠に基づいた看護を実践する。後輩と共に学習する。
		卒後2年目程度研修（実務Ⅰ前期）
	レベルⅠ	看護に必要な基本的能力を習得する。
		卒後1年目程度研修（新人）

たくしは、研修生の学習成果だけでなく、支援者らの反応等も看護師長会議や教育委員会で報告し、支援者としての成果もわかち合える『タイミングと場』をつくるようにしております。

次に、機会教育での支援場面を紹介します。

院内ラウンドでわたくしは、支援場면을教材化することに力を入れております。教材化とは、支援者が臨床の場面から学習してほしい内容を精選し、学習者の思考過程を確認しながら支援する教育方法です。ここでは対話の技術と、指導者と学習者の関係性も重要になりま

す。わたくしが支援者に確認していることは、学習者へ一番学習してほしい内容を取捨選択しているかです。この学習内容の厳選こそが、『タイミングと場』になります。例えば学習者がレベルⅠにあり、初めて実施する看護技術を指示どおりに実施できることを目標にして、指導者は留意点だけを伝え、学習者の行動だけを振り返ることを提案します。支援者は、次の課題をこの教育場面から一つに絞り、それを学習者に伝え、評価すること繰り返していきます。以前は、支援者たちから「たったそれだけで良いのですか」と言われることばかりでした。しかし、最近では「一度に振り返れる内容も限界がありますよね。それがわかるようになったので、支援が

おもしろくなりました（でもたいへんです）」に変化しているように思います。このような変化を見聞きすると、学習者だけでなく、支援者としての著しい成長に感動します。

リフレクションは、関わった学習者と支援者が成長を共に感じられるように、俯瞰するプロセスが重要です。この俯瞰するプロセスを、仲間と共に大切にしていきたいです。

このたび、機関誌「ほすびたる」への寄稿という機会をいただき、改めて自分の職務を考える機会になりました。感謝申し上げます。

脚気論争 (4)

国立病院機構 九州がんセンター
名誉院長 岡村 健

8. 日清戦争（台湾征討を含む）の脚気問題処理と陸軍軍医部長および医務局長（軍医総監）の人事

台湾征討軍の軍医トップ・土岐頼徳は石黒医務局長の命令に背いて、米麦混合食（麦3割）の支給を指示した。自身の進退を賭けた英断だった。これによって、台湾での脚気は次第に終息し、明治35年には脚気患者53名、死亡0となった。しかし、土岐は赴任して約4ヶ月後の明治29年5月10日に任を解かれ、帰京した。即日休職とされ、無官のまま予備役編入となった。台湾勤務と休職人事については公式記録に土岐の氏名は記載されていない（土岐の台湾での勤務はなかったことにされている）。また、台湾任務の軍医部長5名の内、3名は異動後休職、土岐の下で台湾兵站軍医部長を務めた藤田嗣章（画家・藤田嗣治の実父）は7年間もの台湾継続任務となった。通常の人事異動は数年毎なので、異例の長期間だ。ただ一人、森だけが異動後、陸軍軍医学校教官になっている。

陸軍軍医の人事権については、明治8年1月陸軍軍医部条例が制定され、軍医部内のすべての権限は軍医総監・医務局長に一任された。ただ、手続き上、最高責任者・陸軍大臣の承認は必要だったが、医務局長人事がそのまま決裁されることが通例だった。石黒は命令に違反した土岐を始め、土岐に従った台湾軍医たちを懲罰的人事とすることで、台湾征討における脚気被害を隠匿（責任回避）しようとしたのではないかとされている。

台湾副総督の高島鞆之助（麦飯派）は帰国後、明治29年4月2日に拓殖大臣、同年9月19日に陸軍大臣となり、就任後12日目に石黒に台湾視察を命じた。この頃はまだ数千名の脚気患者が発生していた。それにも関わらず、石黒はまだ一度も台湾の惨状を見てなかったからだと言われている。石黒は約1か月の視察後、報告書を提出した。彼は猛烈な病人（マラリア、赤痢、脚気など）が出ており、兵食については現地の司令官が必要と認めれば副食を増やしてよいことになっているので、そうすべきであると述べている。しかし、米食、麦飯については一切触れていない。

1年後、明治30年9月28日、高島陸軍大臣から石黒休職の辞令が下った。停年（65歳）前の52歳だった。『国民新聞』には「……総監の辞表は止むを得ざるに出たことなれば……」と報じられ、『医海時報』には「……円満辞職は嘘で、渋々の辞職……」と暴露された。本人は円満辞職と吹聴したが、事実上是非自発的辞職（高島陸軍大臣による辞職命令）だった。しかし、辞職後、当分の間は陸軍省医務局に一席を設けて日々出省して、新任軍医総監の為に顧問的補助を与える、ということになる。陰の権力者として君臨する余地が残されてしまった。

石黒の休職辞令と同日、後任の医務局長は石坂惟寛となった。石坂は森の後任として台湾に赴任した。その時の台湾副総督は高島だった。石坂はかつて大阪鎮台病院長時代（明治13年4月～明治15年5月）、当時、同鎮台の高島司

令官（明治14年2月～明治15年2月）とは1年間同じ任地で、旧知の仲だった。石坂は麦飯支給を支持していたが、石黒の反対には逆らえなかった。台湾から帰国後、明治29年5月4日に休職となっていたが、高島が陸軍大臣になると、同年12月14日第4師団軍医部長に復職していた。このような履歴・経緯からみると、石坂を復職させ、医務局長に任命した人事は高島陸軍大臣の意向と思われる。しかし、明治31年1月12日松方正義（薩摩）第2次内閣から伊藤博文（長州）第3次内閣になると、陸軍大臣も高島鞆之助（薩摩）から桂 太郎（長州）

（図1）へ代わった。すると、その年の8月4日、就任後わずか10カ月で石坂は休職となった。石坂が短期間で辞めた理由は解らない。しかし、石坂とは不仲の石黒が依然として権力を維持していたためだろう。在任中の人事はすべて部下の落合泰蔵・医務局第2課長に任せていたという。陸軍大臣が高島から桂に交代すると、7ヶ月後、自ら辞めて陸軍軍医界とはすっぱりと縁を切って余生を過ごしている。



図1 桂 太郎

石黒は自分の後任にはキャリア序列と年齢、実直な人物で、米食を支持していた小池正直を考えていた。しかし、当時の陸軍大臣・高島の意向を汲んでとりあえず石坂とし、その任期は短期間で、小池がその後任ということを呑む代わりに自分（石黒）は辞職することにしたのかもしれない。そのことは桂・陸軍大臣も了解していたようだ。森の「明治31年日記」に、5月12日（小池が石坂の後任になる3ヶ月前）、

小池が森を訪ねて来て「桂陸軍大臣が石坂、中泉の辞表提出を待って、衛生部を人事刷新する意向を述べた」と語ったことが記されている。

9. 小池正直の医務局長就任と森の小倉（第12師団）への異動

小池正直（図2）は山形の庄内（鶴岡）藩医・小池正敏の長男で、大学東校（東京帝国大学医学部の前身）で学び、学生のころから陸軍へ入っていた。森とは同級（年齢は森より7歳上）だった。卒業後、陸軍軍医となり、当時就職先の決まっていなかった森を陸軍へ推薦し、森と石黒の関係のきっかけを作った。小池は明治31年8月4日、医務局長（軍医総監）に就任した。彼は人事刷新の方針を打ち出し、2か月後の同年10月、軍医監2名、軍医正12名を休職として、大きな人事異動を断行した。この時、森を近衛師団（東京）軍医部長に抜擢し、師団の軍医部長人事に復帰させた。そして、8ヶ月後の明治32年6月、新設の第12師団（小倉）軍医部長に任命し、軍医監に昇任させた。この人事が左遷なのか通常の異動なのかで、意見が分かれている。



図2 小池正直

小倉人事は、第12師団軍医部長・江口 襄が小池の開業禁止令に反発し、就任後8ヶ月で辞職し開業したので、急遽の穴埋めだった。しかし、穴埋めなら、他の師団軍医からの異動も十分可能だった。また、新設6師団の軍医は1等または2等軍医正で、森だけが上位の軍医監で

あることから、実質的な左遷という説がある。ただ、昇任する（官位が上がる）と異動となるのが慣例だった（この慣例は現在も継承）ことから、森をまずは軍医監へ、次の段階では軍医総監に昇任させる準備だったとも考えられる。また、左遷であれば森に懲罰に値する軍医の勤務不良がなければならないが、台湾から帰京後の森に何の落ち度もない。

しかし、森は小池から排除されたと感じ（「明治31年日記」9月17日）、母への手紙に左遷だと書いている（明治32年6月27日附の母への手紙「鷗外森林太郎」森潤三郎著）。また、森は、小倉赴任の翌年、明治33年1月1日、『福岡日々新聞』に「鷗外漁史とは誰ぞ」との文壇時評を投稿した。その中で「文筆上の名声のために、かえって誤解を受け、進歩を妨げられ成功を挫かれた、自分はまじめに医学や官事に励んでいるのに正しく評価してくれない」とこぼしている。この新聞記事から世間も左遷と受け取ったのだろう。しかし、森の記事に應えるように、同年2月5日、石黒は『中央新聞』に談話を発表した。その内容は森の履歴と実績を高く評価したもので、本務を十分に果たして、その合間に文学をやるのは一向に構わない、軍医が成功を妨げられるのはあくまで本務であるとして、森の愚痴を否定している。さらに、小倉日記によると、小池は医務局長就任前の6ヶ月間、毎月1～2回は森と会って、今後の医務局組織について相談している。しかも、医務局長就任後、森を近衛師団軍医部長に抜擢していることから、小池が森を排斥しようとした事実はない。作家としての名声を嫉んでとの見解もあるが、当時の作家は家賃を払うだけの収入もない不安定な職業であり、嫉まれるほどではない。森による旧態然の医学界批判が原因との説もあるが、石黒は軍医としての本務をしっかりと行っていれば、他の事は問わないと述べている。小池も、勤務、学識、品行、才能重視の公

平、厳正な人事を医務局長の基本方針としており、本務とは無関係の医学界批判も懲罰に値する程ではない。

森の『福岡日々新聞』の記事に呼応して、石黒の談話が『中央新聞』に掲載された翌月の明治33年3月4日、森は陸軍師団軍医部長会議出席のため上京した。小倉へ赴任後初めての帰京だった。同年3月6日朝、石黒が森の私邸を訪れた。その10日後、森は前医務局長・石坂惟寛の自宅を訪れ、病臥中の石坂と面談した。森が石坂を訪問した理由は、上京する前の2月3日、『医海時報』に石黒の医務局長辞任は洩々辞職だ、との暴露記事が発表され、そこに石坂の名前が出ていたからと思われる。この間の石黒と森の一連の行動から、森は自分の小倉への異動人事が石黒の辞職と関連していることを納得し、小池への誤解が解けたのだらうと推察されている。その根拠として、小倉赴任時と今回の上京後の森の気持の変化を挙げている。森は小倉への帰路、3月26日の明石で次のように詠んだ。

「羔雲^{こううん} 空を蔽^{おお}ひて 春風^{かす} 微かに動けり、海きらきら 帆は紫に霞^{かすみ}けり」と。前年の小倉赴任時での記録が暗い気持となっているのに比べると、晴れ晴れとした気分が感じられる、と述べている（山下政三著「鷗外森林太郎と脚気紛争」）。この後、森は小倉異動の愚痴をこぼさなくなる。

10. 森の小倉への異動は左遷なのか

山下書は、森の小倉への異動は左遷との見解だ。その根拠は、定期的な異動ではなく、前任者の突然の辞職に伴う穴埋め人事だったこと、石黒が日清戦争（台湾征討も含む）での脚気惨害の責任を取った形で辞職した（させられた）後で、石黒に加担した森の責任問題が燻っている時期でもあること、さらに昇任であれば小倉

までの異動でなくとも東京近隣の師団への昇任異動も可能であること、などである。そして、そこには隠された意図があったという。それは、日清戦争・台湾征討での脚気惨害の責任を問う声がある中、石黒は非自発的辞職、石坂は僅か10ヶ月で自ら辞職した。しかし、森の処分問題が未決になっていた。当時、陸軍大臣は高島の後任の桂太郎で、桂はかつて樺山の後任で台湾総督に就いていたので、台湾征討での脚気惨害問題を熟知していた。森の処分問題を放置しておける情勢ではなかった。小池は森に対して悪感情は持っていない。そこで、左遷のイメージを薄めるため、軍医監に昇進させて小倉異動とした、というのである。確かに、台湾征討での脚気惨害問題の処理には隠された意図があったという山下書の見解は納得できる。

しかし、左遷とは「官位を低くして遠地に赴任させること（広辞苑）」である。降格人事や懲戒免職などの処分人事でなければ、左遷とは言えない。昇任で異動させて排斥することもあり得るが、それは左遷ではない。仮にその場合としても、任命権者の真意が表面化することはない。したがって、その時点で小池の真意を明らかにするのは極めて困難である。小池による森の人事が、

その後どうなったかで憶測する以外にない。

小池は、陸軍大臣が桂太郎から児玉源太郎（長州）へ交代した後、明治35年3月14日、森を第1師団軍医部長に任命し、東京へ復帰させた。その後、日露戦争後には、自分の後任に森を推薦した。森は、明治40年11月13日、陸軍医務局長（陸軍軍医総監）に就任した。つまり、小倉への異動は、左遷（処分）のように見せかけて脚気問題が沈静化するのを待つためであって、いずれ森を軍医のトップ・医務局長にするための前準備の人事と考えるのが妥当ではないだろうか。森も異動時は自ら左遷と思い込んでいたが、上京時に石黒や石坂と直接面談してからは、誤解が解けたのだろう。これ以降は石黒や小池への批判的言動は影を潜めている。まるで小倉異動の真意を認識したかのように。

なお、図3に日清戦争・台湾征討前後の陸軍首脳と森の人事を示す。医務局長の任期は橋本綱常（福井藩・橋本左内の弟）が5年4ヶ月、石黒が約7年、小池が9年3か月、この図にはないが森が9年5ヶ月と長いのにに対し、石坂は約10ヶ月と極端に短い。石坂の医務局長がいかに異例人事だったかを示しており、高島陸軍大臣の強い意向が働いていたのではないかと推察される。

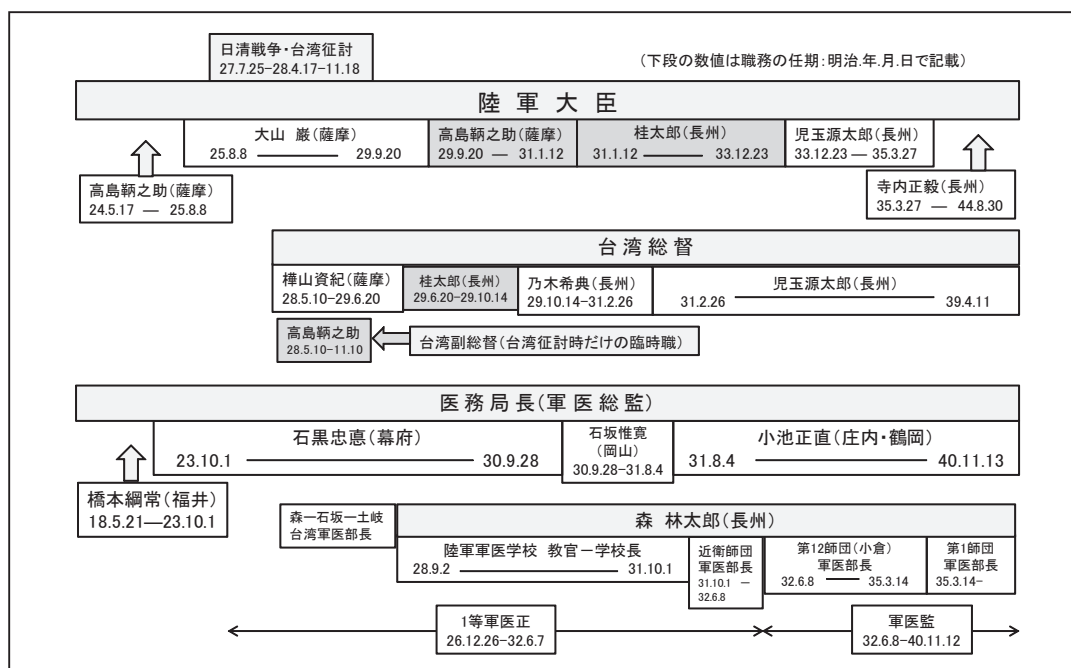


図3 日清戦争・台湾征討前後の陸軍首脳と森の人事

時事管見…嘘、大嘘、そして統計～その1

学校法人原学園看護専門学校 学校長 朔 元 則
国立病院機構九州医療センター 名誉院長

マーク・トウェインの言葉

最近の小中学生がどのような物語に夢中になっているのかよく知らないが、私達の世代が少年時代に胸を躍らせて読みふけていた作品のひとつが、米国人の作家マーク・トウェイン (Mark Twain, 1835 ~ 1910) の「トム・ソーヤーの冒険」であった。終戦直後の混乱期が収まり、朝鮮戦争で日本が好景気となって所謂アメリカ物の子供向け翻訳書が出廻り始めた時代に、最初に出会った書物が「トム・ソーヤーの冒険」であったこともこの物語に人気があったことの理由のひとつかも知れない。

今月の時事管見のタイトルに借用させていただいたのは、マーク・トウェインが19世紀のイギリスの首相デイスレーリ (Benjamin Disraeli, 1804 ~ 1881) の言葉として1906年にNorth American Review誌上で紹介し、世界的に有名になった言葉である。There are three kinds of lies : lies, damned lies, and statistics (世の中には3種類の嘘がある：嘘、大嘘、そして統計だ) というのが原文であるが、残念なことにまさに現在の社会を語るに相応しい言葉であろうと考えたからである。

大変皮肉なことに、後世の研究者がデイスレーリ (ユダヤ系イギリス人作家の長男であり、政治家でありながら多数の歴史小説、心理小説を残している文筆家でもあった) の著作を丹念に調査し、「トウェインが紹介した言葉はデイスレーリの著作のどこにも見当たらない…」と発表している。トウェインのこの紹介そのものが嘘である可能性もない訳ではないが、それはご愛嬌として不問に付しておきたい。

この言葉の真の発信者が誰であったのか不明であるとしても、トウェインが言いたかったことは「小さな嘘、大きな嘘、そして客観的に見える数字で作られる嘘の順に罪が重い」というようなことであったのではないだろうか…。

小さな嘘？

今国会における森友学園、加計学園に関する様々な質問 (所謂モリカケ疑惑) に対する安倍晋三首相の答弁や証人 (参考人) 喚問された官僚達の発言が「嘘ではない。真実である」と思っている国民は誰一人いないであろう。たとえ世論調査の統計でどのような数字が出てこのことは断言出来ると私は思っている。

しかし本稿執筆の平成30年6月末の時点での新聞報道では、安倍内閣の支持率は30%のラインを切ってはいない。何故なのであろう。日本国民がこれらの問題を、政権の責任を問うほど重大ではない「小さな嘘」とみなしているということなのであろうか？

野党の力不足、熱し易く冷め易い大衆心理、安倍一強の自民党内における自浄能力の欠如、いろいろ理由はあるかも知れない。先月号の私のLetterを読んでいただいた読者の一人 (医療従事者ではない) からは、「財務省内の不祥事として片付けてしまいたい政権の思惑に沿った一部のマスメディアの情報操作に、国民が乗せられてしまっている…」という御意見まで頂戴した。

こうなってくるともう an aging surgeon の思考の範囲を超えてしまっており、的確なコメントを述べることに私には出来ない。しかし米朝関係の急展開、トランプ政権が引き起こしている貿易摩擦問題、そして大阪北部地震、サッカー W 杯

における日本代表チームの予想外の大活躍。それらのすべてが安倍政権のモリカケ疑惑からの逃げ切り作戦への大きな援護射撃になっていることだけは確実であろう。NHKのあまりに過大なサッカーW杯報道を見ていると、この読者のご指摘は案外正鵠を射ていると言えるのかも知れない。

森友問題が国会で追及された当初、安倍首相は「もしこの問題に私や私の妻が関与していることが明らかになれば、総理大臣も国会議員も辞任する…」と国民の前で広言してしまっているのである。「汚職ではない…」等々と詭弁を弄して逃げ切りを計るなど社会通念として通用するのだろうか…。神戸製鋼の例でみるように、企業であれば社長自身が直接関与していない嘘であっても、それが明らかになった時点で社長は潔く引責辞任しているのである。たとえ国会議員を辞職しなければならないような大嘘ではないとしても、安倍首相には自民党総裁選三選を目指しての出馬が許されてよいものであろうか…。an aging surgeonの素朴な疑問である。

大嘘

モリカケ疑惑に関する安倍政権サイドの嘘を仮に小さな嘘とするならば、大嘘と言うべきものは一体何なのであろう？ もしも小さな嘘の問題にかまけて、大きな嘘に対する議論がないがしろにされているのであれば、むしろその方が日本という国家にとっては大問題であるかも知れない。

本年4月、日本銀行の黒田東彦総裁が無風状態ですんなりと再任された。安倍政権そして黒田総裁が推し進める金融緩和政策は殆ど何の議論もなく継続されている。経済の専門家でもないan aging surgeonの勝手な独り言に過ぎないかも知れないが、もしもこの金融緩和政策の基本理論が嘘だったら「この国のかたち」はどうなるのであろう？

5年前に発表された「通貨供給を2倍にし、2年間で物価上昇率2%を実現する…」という声明は現在でも実現の目処すら立っていないようである。この政策の支持者は「効果が出るまでに時間

がかかっているだけ…」と説明されているようであるが、この見解は間違っていないのであろうか？ この政策に反対する専門家の意見が新聞紙上に散見されることはあっても、それが大きく取り上げられることはない。専門的な難しい問題であるから、モリカケ疑惑や日大アメフト問題、サッカーW杯報道のように気楽で大衆受けする問題ではないことは百も承知であるが、これでよいのであろうか？ すでに「金融市場のかなりの混乱なしに、この金融政策の変更は困難」という意見が専門家の間では囁かれているようであるが、これは単なる杞憂に過ぎないものであろうか…？ もしもこの政策の根幹に嘘があればこれは間違いなく大嘘であろう。

本年6月の最大のニュースは米朝首脳会談である。ここで約束された事が、10年後に「嘘であった」と判定されるならば間違いなくトウエインが言う大嘘ということになろう。この問題も統計の嘘についても論じたいのであるが紙面が尽きてしまった。今月のLetterの最後は司馬遼太郎氏が日本経済のバブルが崩壊した平成6年(1994年)1月3日に新聞紙上に発表された文章の1節を引用して終わりにしたい。

いまは日本中が醒めた。ただし「あれはバブルの時代のことでね」と日本人の心と生産の基本を蝕んだこの霧の時代のことをひとことで片付けてしまう傾向がある。太平洋戦争のことをあれは軍閥がやったことでと、にべもなく言うのに似ている。(中略)

日本には多くの大学に経済学部や研究所がある。そういう機関であの現象についての研究がすでに始まっているのであろうか。なぜ生起し、どのように進行したか。さらにその結果としてのこの不況の正体はなにか。また経済学はこれを予見し、阻止することが出来なかったのか(風塵抄Ⅱ、194頁より)。

本稿校了後の7月7日、西日本豪雨災害が発生した。甚大な被害を蒙った愛媛県中村時広知事の加計学園問題に対する批判の矛先が鈍るのは必定であろう。とも安倍首相に味方したようである。

国の名前、自称と他称

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

国の名前には、よその国の人が言う名前と、自国民が称する名前が、まったく異なる場合がある。日本を、外国人はジャパンなどと言う。

自分の国をなんと呼んでいるか。それを知るには、切手を見るのが一番よい。オランダはネーデルランド、スイスがヘルヴェティア、ハンガリーはマジャールである。

オランダのネーデルランドは、ドイツ語の *nieder* から類推すると、低い土地ではないだろうか。そうしてオランダという名は、この国がスペインから独立した時の、指導者ホランドの名前から来たものだという（世界大百科事典、平凡社、オランダ・歴史）。スイスと言うのはフランス語で、それを日本でも使っている。ヘルヴェティアはスイスの古い民族名である。ハンガリーは、4～5世紀にヨーロッパに侵攻したアジアのフン族の名からついている（地理地名事典、旺文社、フン族）。ハンガリーのハンがフン族のフンである。マジャールは民族名である。ハンガリーはフン族ではない。ヨーロッパ人は、同じアジア系なので、フン族と勘違いしたのであろう。

フランス・デンマーク・ベルギーなどは、自称と他称が一致している。スペインがエスパーナと多少異なるが、推察可能である。ドイツは英語では、ジャーマニーである。これはゲルマン族という意味である。日本では、英語にわずらわされず、ドイツで通した。ドイツへの留学生が、多かったからであろう。イギリスが問題である。まずイギリスの切手には、国名が書かれていない。これは、切手がイギリスで発明されたからである。当時よその国には切手が無

かったので、書く必要がなかった。正式な国名は、グレートブリテンである。これはイングランド・スコットランド・ウェールズの各旧王国が、存在している島の名前である。さて「イギリス」という日本語が、なにから来たのか。たぶんイングランドからだとは思いますが、イングランドとイギリスでは発音が違いすぎる。いろいろ口にしてみるうちに、「イングリッシュ」と言ってみた。これはイギリスに近い。形容詞であるが、江戸時代の人はこちらを国名だと思ったのであろう。



オランダ



イギリス



スイス



ハンガリー

諸国の切手

* 6月14日のNHKテレビ番組「日本人のおなまえ」で、国の名前が取り上げられ、この文と重なるところがありました。この原稿はその放送以前の6月2日に投稿したものです。

人体旅行記 陰茎（その三）

国立病院機構 都城医療センター 吉住 秀之
副院長

陰茎はいざというときに勃起、すなわち立たなければその役目を果たすことができません。ヒトの陰茎では尿道海綿体と一對の陰茎海綿体という組織に血液が充填されることで勃起が起こる血管筋肉型で、イヌやウマもこのタイプです。勃起時には海綿体洞の内圧は、収縮期動脈圧よりはるかに上昇します。坐骨海綿体筋は横紋筋なので、意志によってこの筋肉を収縮させると、陰茎脚が絞られ圧はさらに上昇します。イヌでは5000mmHg以上、ヒトでも500mmHg以上になるといわれています¹⁾。ウシやヤギ、ブタなどの陰茎は弾性線維型と呼ばれるものです。海綿体の発達は悪いため勃起による膨張は少ない反面、海綿体を包む白膜が非常に厚いため、勃起しない場合でも一定の硬度が保たれています。たとえば、普段は折りたたみ傘を持ち歩き、いざという時に大きく広げるか、いつでもある大きさの傘を持ち歩くかというようなものなのでしょうか。

種によっては、陰茎骨という内臓骨をもっている動物もあり、ネコなどの食肉目、ネズミなどの齧歯目、コウモリなどの翼手目そしてヒトを除く霊長目に備わっています。ヒト以外ではウサギ目、ウシなどの偶蹄目、ウマなどの奇蹄目の動物は陰茎骨をもちません。クジラのそれは2mにも及びセイウチは55cmの長さがあります。イヌでは尿道の導管の役目を担っていますが、クマやオオカミでは陰茎骨が性交に必須です。リス科では陰茎骨の形状で細分類がされるほど多様性があり、ある種では処女膜を穿孔させるべく鋭く進化したものもあります²⁾。

ヒトにも陰茎骨があれば、勃起不全に悩まされることがないのでは思う方もいるかもしれませんが、マウスでこの骨が形成不全を起こすと、挿入不能になることが報告³⁾されていますし、ヒトでも異所性骨化により陰茎内に骨が形成されたため挿入の妨げになった症例が報告⁴⁾されていることを見ると、そう単純にはいかないようです。道具の完璧なデザインは非常に難しいのだということがわかりますね。

- 1) Purohit RC, et al (1976) Penile pressure and muscle activity associated with erection and ejaculation in the dog. Am J Physiol 231:1343-1348. Lavoisier P, et al (1986) Correlation between intracavernous pressure and contraction of the ischiocavernosus muscle in man. J Urol 136:936-939.
- 2) Bett WR (1951) The os penis in man and beast. Pros R Soc Med. 44:433
- 3) Dollé P, et al (1993) Disruption of the Hoxd-13 gene induces localized heterochrony leading to mice with neotenic limbs. Cell.75:431-441
- 4) Sarma DP, et al (1990) Human os penis. Urology 35:349-350, Lakhnana NK et al (2013) Human penile ossification. JIMDC.4:92-94. 陰茎の異所性骨以外にも1743年にフランソワ・ジゴ・ラ・ペロニーが報告したペロニー病という陰茎海綿体の白膜にしこりができる病気があり、性交障害の原因になります。

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成 30 年 6 月福岡県私設病院協会の動き

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 6 月 1 日（金）午後 3 時

場 所 協会会議室

議 題

1. 協議事項

- (1) 診療報酬改定に伴う取り組みについて
- (2) 11 月研修会について
- (3) 情報交換について
- (4) その他

2. 報告事項

- (1) 前回議事録について
- (2) 私設病院協会研修会について
- (3) 私設病院協会 4 月～5 月の動き

◎ 研 修 会

日 時 6 月 2 日（土）午後 3 時

場 所 天神スカイホール メインホール

演 題 「ダブル改定や未来投資戦略から見える
今後の日本の医療介護」

講 師 国際医療福祉大学 赤坂心理・医療
福祉マネジメント学部長
高橋 泰 氏

参加者 46施設 69名

◎ 広報委員会

日 時 6 月 12 日（火）午後 3 時 45 分

場 所 協会事務室

議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

◎ 理 事 会

日 時 6 月 12 日（火）午後 4 時

場 所 協会会議室

議 題

1. 会長あいさつ

2. 協議事項

- (1) 新役員体制による担当（案）について
- (2) 行政・関係団体等の委員就任（案）
について
- (3) 「事務長会運営委員会」・「看護部長会
運営委員会」委員改選について
- (4) 会員異動について
- (5) 研修会について
- (6) 地域医療構想について

① 病床機能分化連携推進部会及び調
整会議における議論の概要

② その他

- (7) 個別指導・適時調査アンケート結果
の取扱いについて
- (8) 旅費規程の改正について
- (9) 福岡市医師会主催「急患診療協力機
関との懇談会」について
- (10) 職員の賞与について
- (11) その他

3. 報告事項

- (1) 私設病院協会
- (2) 看護学校
- (3) 医療関連協業組合
- (4) 全日病本部・全日病福岡

「仲 間」

医療法人新光会 不知火病院
看護部長

原 きょうみ
恭美

私が勤務する不知火病院は大牟田市にあり有明海が間近に広がる自然が豊かな所です。219床の単科の精神科病院で、1989年に日本初のストレスケア病棟を開設し30年が経過しました。建物も治療の道具の一つと考え、母性的で安心できる治療環境を提供しています。うつ病治療を中心に、クリニカルパスを活用し復職支援や再発防止に向けた治療プログラムを、多職種連携で取り組んでいます。入職して26年になるこの4月から看護部長の職責に就くことになりました。思い描く看護部長像と現在の自分とは、ほど遠い所にいます。まだまだこれから経験を積み重ね看護部長としての基軸を形成していくのだろうと楽観的（回避的ともいえますが…）に考えています。

さて、慣れない職位に就きドタバタな日常の中で、若干の後ろめたさを抱きながらも、1年前から計画していた女子旅を6月に決行しました。小・中学校の同級生で、居住地や生活環境もバラバラな女子4人です。子育て時代の十数年は、年賀状や誕生日メール位の交流でした。しかし、1年程前に久しぶりに3人で集まる機会がありました。子供達もほぼ自立した現状で、自分達へのご褒美として「女子旅をしよう」と一気に話が盛り上がりました。場所は、3人が未体験ということでディズニーランドに即決しました（足腰が動くうちにという切ない理由でもありましたが）。誰かコーディネーターが必要だとなった時、2人が私に笑顔を向けました。「〇〇さんの計画に従うから」「昔からそういう役割だったよね」と当たり前の様に言われました。私自身も「ああ、確かにそうだったよ

ね」と、当たり前のように引き受ける事になりました。元々、仲間の中では、遊びの計画や連絡と調整などが私の役割でした。とはいえ、旅行積立貯金を始めた位で特には何の準備もせずに時間は流れていきました。もしかしたら、誰かが「行けない」と言い出してキャンセルになることも想定していました。でも、新年を迎えた頃から催促とも取れる様なlineが来る様になり、みんなが本気なんだと感じました。コーディネーターの職務を怠慢していた私は、パンフレットを集め旅行の手配を始めました。日程調整が上手くいかず難航しましたが、お得なパックがゲット出来て一安心したのが2月。また一旦置いて、5月に入りいよいよ本格的に内容の検討をしました。

初日のディズニーランドは行動に不安があったので、地元に住んでいる私の息子に案内役を頼みました。2日目は希望が多かった「鎌倉・横浜」に決定。無難に「はとバスツアー」を予約しました。最終日は、浅草・スカイツリーと東京観光で決定。旅行中の会計係も私が引き受けました。とにかく、段取りが決まり一安心はしたものの、雨具の用意や忘れ物がない様に、寝坊しない様に、集合場所の確認やらなにやらと、前夜までlineが飛び交いながら気分が盛り上がっていききました。

女子旅初日は、お天気にも恵まれ昔話にも花が咲き、どこに行っても「ワーワーキョーキョー」案内役の息子が何度も苦笑いをするほどで、気分はすっかり中学生に戻っていました。2日目は、当初の予定に加えて東京の夜景コース(はとバスツアー)まで追加で申し込み、

1日中はとバスを満喫しました。最終日の空港で「色々と迷惑かけたけど、〇〇さんのお陰で楽しかった」「ありがとう。やっぱり〇〇さんやね」とみんなが感謝をしてくれました。また、5年後の女子旅を約束して、母親・妻・娘・仕事……とそれぞれの役割の待つ日常に戻っていききました。

この仲間達と学童期・青年期の多感な時期を過ごしてきました。思えば私に対して、常にポジティブに接し感謝も沢山してくれていました。私もみんなが喜んでくれることが嬉しくて、仲間の為に行動することが苦になりませんでした。自分に向けられる「ポジティブな感謝」

から自己肯定感や役割意識が確立し、成長過程での自我機能形成に影響していたのかもしれないと考えました。その時の体験が基盤となつて、成熟期となった今でも昔と同じような関係性の「仲間」でいられたのだと感じました。

看護部長になり現場から離れたことで少し寂しい気持ちがありました。でも、また新たな出会いもあり仲間が形成されていきます。どこにいても支え合える仲間を大切に思い感謝をして、自分が出来る役割を果たしていきたいと思っています。

そして5年後、私の大事な仲間達と女子旅を実現したいと考えています。

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器機等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

理 事 会

第 56 回理事会 報告

日 時 平成 30 年 6 月 26 日 (火)

16:00 ~ 16:45

場 所 ANA クラウンプラザホテル福岡
(福岡市博多区博多駅前 3 丁目 3 番 3 号)

出席者 (敬称略)

会 長 石橋

副会長 井上

理 事 平専務理事、上野総務理事、
澄井財務理事、壁村企画理事、一宮、
江頭、大塚、岡留、小嶋、小柳、津留、
寺坂、深堀、増本、吉田、吉村
計 18 名 (※理事総数 25 名)

議 長 岡嶋

副議長 梅野

I 行政等からの通知文書

上野総務理事が、以下の文書について説明しました。

- ① 人事異動等に伴う福岡県地域医療構想調整会議等の委員の推薦について
(県保健医療介護部長発)
- ② 「専門研修プログラム調整委員会」の委員変更に伴う推薦について (同上)

II 報告事項

1 公益目的事業関係

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 企画委員会

深堀運営委員長から、報告がありました。

日 時 平成 30 年 6 月 11 日 (月)

16:00

場 所 福岡県医師会会館 6F 研修室 5

協議事項

1. 第 12 回県民公開医療シンポジウムの開催について
 - ・チラシ、ポスターについて
 - ・広告掲載の申込について
 - ・講師謝礼について
 - ・当日の司会者及び応援職員について
 - ・アンケートについて

イ 第 153 回看護研修会

寺坂担当理事から、報告がありました。

日 時 平成 30 年 6 月 19 日 (火)

10:00 ~

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 身体を拘束しない看護の実現を目指して

1. 「抑制しない看護へのチャレンジ」
金沢大学附属病院
副病院長・看護部長 小藤幹恵
2. 「認知症患者の世界を理解する
～認知症患者を見る目をかえよう～」
社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 看護師長
脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師 杉本智波

【開催予定】

ア 第 1 回リハビリテーション委員会

上野担当理事から、報告がありました。

日 時 平成 30 年 7 月 12 日 (木)

14:30 ~

場 所 福岡県医師会会館 6F 研修室 5

協議事項

1. 平成 29 年度第 2 回リハビリテーション研修会報告
2. 平成 30 年度研修計画について

2 収益事業、法人事務等関係

(1) 各種委員会、研究会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

岡嶋委員長から、報告がありました。

日 時 平成 30 年 6 月 26 日 (火)

15 : 45 ~

場 所 ANA クラウンプラザホテル
福岡

協議事項

1. 7 月号の現況について
2. 8 月・9 月号の編集について
3. その他

【開催予定】

ア 第 1 回経営管理研究会

津留担当理事から、報告がありました。

日 時 平成 30 年 7 月 5 日 (木)

14 : 55 ~

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 医師の働き方改革

1. 「医師の働き方改革検討会の現況と今後の展望」
福岡県済生会福岡医療福祉センター
総長 岡留健一郎

(2) 「第 55 回理事会」の議事録について

平専務理事から、説明がありました。
了承されました。

(3) 4・5 月分収支報告について

澄井財務理事から、説明がありました。
了承されました。

(4) 会員の変更について

平専務理事から、説明がありました。
九州大学病院 (福岡市東区)
石橋達朗 前病院長 → 赤司浩一 病院長

北九州若杉病院 (糟屋郡篠栗町)

蓮尾裕 前院長 → 松村潔 院長

了承されました。

(5) 「看護師のための認知症ケア講座」内容掲載の依頼について

平専務理事から、五役会で検討の結果、福岡県慢性期医療協会の依頼に応じ広報に協力することとし「ほすびたる」6 月号に記事を掲載した旨の説明がありました。
了承されました。

III 協議事項

(1) 第 6 回定時会員総会の議題について

第 6 回定時会員総会の予定議案のうち、次の議案について審議が行われました。

- ① 第 3 号議案 任期満了に伴う役員の改選等について
- ② 第 4 号議案 異動に伴う参与の委嘱について

平専務理事から、第 3 号議案について、役員候補者数はいずれも定数内であること、退任予定者 3 名の顧問委嘱案を会員総会に諮ること、また、第 4 号議案について、第 54 回理事会で概要説明済であることなどの説明がありました。
いずれも、異議なく了承されました。

(2) 専修学校の職業実践専門課程に係る委員会への委員就任依頼について

平専務理事から、学校法人麻生塾からの依頼の趣旨・内容について説明が行われ、依頼に応じることとして了承されました。

Ⅳ その他

1 行事予定

平専務理事から、説明がありました。

(1) 平成 30 年 7 月

ア 第 1 回経営管理研究会

日 時 平成 30 年 7 月 5 日 (木)

14:55 ~

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 医師の働き方改革

イ 第 1 回リハビリテーション委員会

日 時 平成 30 年 7 月 12 日 (木)

14:30 ~

場 所 福岡県医師会会館 6F 研修室 5

ウ ほすびたる編集委員会・理事会

日 時 平成 30 年 7 月 24 日 (火)

場 所 福岡県医師会会館 6F 研修室 3

① 15:45 ~ ほすびたる編集委員会

② 16:00 ~ 理事会

(2) 平成30年 8 月

ア 第 154 回看護研修会

日 時 平成 30 年 8 月 17 日 (金)

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 臨床におけるリーダーシップ
マネジメント

イ 第 67 回栄養管理研修会

日 時 平成 30 年 8 月 18 日 (土)

場 所 福大メディカルホール

(福岡市城南区)

テーマ 高齢者の栄養管理

ウ 第 12 回県民公開医療シンポジウム

日 時 平成 30 年 8 月 25 日 (土)

場 所 福岡国際会議場

テーマ 21 世紀のメンタルヘルス

エ 病院委員会 (日時・場所とも未定)

オ ほすびたる編集委員会・納涼会

日 時 平成 30 年 8 月 28 日 (火)

場 所 割烹よし田

(福岡市中央区天神)

① 18:00 ~ ほすびたる編集委員会

② 18:30 ~ 納涼会

(3) 平成 30 年 11 月

ア 第 155 回看護研修会

日 時 平成 30 年 11 月 6 日 (火)

~ 7 日 (水)

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 認知症

(看護実践力向上研修会)

イ 第 57 回診療情報管理研究研修会

日 時 平成 30 年 11 月 21 日 (水)

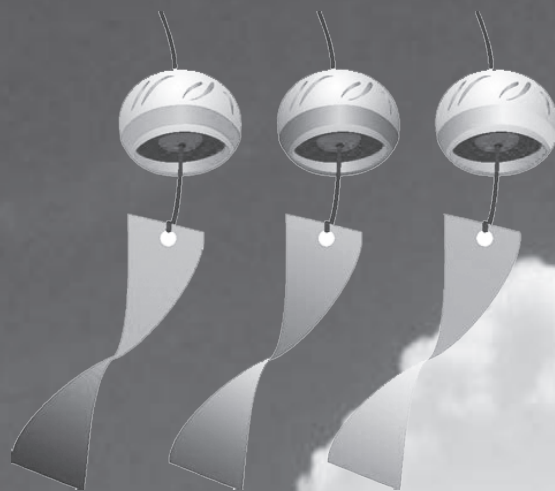
場 所 九州大学医学部百年講堂

2 最近の医療情勢について

岡留理事から、医師の働き方改革に関する論議の現況について説明があり、寺坂理事から関連情報が報告されたほか、消費税増税時の取扱いや SUD についての質疑など、意見・情報交換が行われました。

暑中お見舞い 申しあげます

2018（平成 30）年 盛夏



*掲載は受付順にさせていただきます。

九州大学病院

病院長 赤 司 浩 一

〒 812-8582
福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008
URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

久留米大学病院

理事長 永 田 見 生
病院長 八 木 実

〒 830-0011
久留米市旭町 67 番地
電話 (0942)35-3311 FAX (0942)32-6278
URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>

地方独立行政法人 福岡市立病院機構 福岡市民病院

院 長 桑 野 博 行

〒 812-0046
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900
E-mail:shiminbyoin@fcho.jp
URL <http://www.fcho.jp/shiminhp/>

医療法人 原 三 信 病 院

理事長 平 祐 二
院 長

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 - 8
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424
URL <http://www.harasanshin.or.jp>

独立行政法人 国立病院機構

小倉医療センター

院長 澄井 俊彦

〒 802-8533

北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 (093)921-8881 FAX (093)922-5072

URL <http://www.kokura-hp.jp/>

地域医療支援病院

飯塚病院

innovate and evolve

院長 増本 陽秀

〒 820-8505

飯塚市芳雄町 3 番 83 号

電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744

URL <http://aih-net.com>



地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会 社会保険田川病院

院長 田中 裕穂

〒 826-0023

福岡県田川市上本町 10-18

電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540

E-mail: syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp

医療法人社団 福光会

福田眼科病院

理事長 福田 量

院長 江島 哲至

〒 814-0013

福岡市早良区藤崎 1 丁目 24 番 1 号

電話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649

E-mail: fukudaganka@nifty.com



日本医療機能評価機構認定病院
救急告示・開放型 臨床研修病院指定



医療法人

西福岡病院

理事長 安藤 文英

院長 中垣 充

〒 819-8555

福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号

電話 (092)881-1331 FAX (092)881-1333

E-mail: jim@nishifukuhp.or.jp

URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険仲原病院

院長 岡嶋 泰一郎

〒 811-2233

福岡県粕屋郡志免町別府北 2 丁目 12 番 1 号

電話 (092)621-2802 FAX (092)623-2247

E-mail: nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp

URL <http://www.nakabaru-hp.jp/>



独立行政法人 国立病院機構

大牟田病院

院長 川崎 雅之

〒 837-0911

福岡県大牟田市大字橘 1044-1

電話 (0944)58-1122 FAX (0944)58-6804

URL <http://www.oomuta-h.com/>

医療法人社団 水光会

宗像水光会総合病院

理事長 津留 英智

院長 田山 慶一郎

〒 811-3298

福岡県福津市日蔭野 5 丁目 7 番地の 1

電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981

E-mail:hosp@suikokai.or.jp



社会医療法人

製鉄記念八幡病院

理事長 土橋 卓也
院長

〒 805-8508

北九州市八幡東区春の町 1 丁目 1 番 1 号

電話 (093)672-3176 FAX (093)671-9605

URL <http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>



日本医療機能評価機構認定病院
救急病院 指定自立支援医療機関（更生医療）

医療法人 シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長 杉 健三
院長

〒 837-0916

大牟田市大字田隈 950-1

電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077

E-mail:soumu@sugi-hosp.jp

宗像医師会病院

院長 伊東 裕幸

〒 811-3431

福岡県宗像市田熊 5 丁目 5 番 3 号

電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016

医療法人社団 筑山会

松岡病院

理事長 松岡 嘉宣
院長

〒 821-0012

福岡県嘉麻市上山田 1287

電話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926

URL <http://www.chikuzankai.com/>



日本医療機能評価機構認定病院
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
福岡県済生会二日市病院

院長 間野 正 衛

〒 820-0076
福岡県筑紫野市湯町 3 丁目 13 番 1 号
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210
E-mail: info@saiseikai-futsukaichi.org
URL <http://www.saiseikai-futsukaichi.org>



医療法人 福岡桜十字

桜 十 字 福 岡 病 院

理事長 今 村 博 孝
院長

〒 810-0004
福岡市中央区渡辺通 3-5-11
電話 (092)791-1100 FAX (092)791-1105
E-mail: fukuoka.info@sakurajyuji.jp
URL <http://www.sj-fukuoka.or.jp/>

福岡県立精神医療センター

太 宰 府 病 院

院長 小 嶋 享 二

〒 818-0125
福岡県太宰府市五条 3 丁目 8 番 1 号
電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060
E-mail: info@dazaifu-hsp.jp

医療法人 ユーアイ

西 野 病 院

理事長 西 野 豊 彦
院長

〒 820-0206
福岡県嘉麻市鴨生 532
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790

医療法人社団 益豊会

今 宿 病 院

理事長 深 堀 元 文
院長

〒 819-0167
福岡市西区今宿 2 丁目 12 番 7 号
電話 (092)806-0070 FAX (092)806-4417
E-mail: info@imajuku-hospital.gr.jp
URL <http://www.imajuku-hospital.gr.jp>



日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
福岡県済生会飯塚嘉穂病院

院長 迫 康 博

〒 820-0076
福岡県飯塚市太郎丸 265
電話 (0948)22-3740 FAX (0948)29-1987
E-mail: soumu@iizuka-kaho.jp
URL <http://iizuka-kaho.jp/>

医療法人 博愛会

京都病院

理事長 岡松 秀一
院長 中池 竜一

〒 824-0811

福岡県京都郡みやこ町勝山箕田 298 番地
電話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2712
E-mail:miyako-post@miyako-hp.or.jp
URL <http://www.miyako-hp.or.jp>

医療法人社団 久英会

高良台リハビリテーション病院

理事長 中尾 一久
院長

〒 830-0054

福岡県久留米市藤光町 965 番地の 2
電話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535
E-mail:kouradai-web@kyueikai.jp
URL <http://www.kyueikai.jp/rehabili/>

国家公務員共済組合連合会

新小倉病院

院長 渋谷 恒文

〒 803-8505

北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
E-mail:kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp
URL <http://www.shin-kokura.gr.jp>

地方独立行政法人

筑後市立病院

理事長 吉田 正
院長

〒 833-0041

筑後市大字和泉 917-1
電話 (0942)53-7511 FAX (0942)53-7515
E-mail:info@chikugocity-hp.jp
URL <https://www.chikugocity-hp.jp/>

医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 江頭 啓介
院長

〒 814-0143

福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp
URL <http://www.sakurahp.or.jp/>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

済生会福岡総合病院

院長 松浦 弘

〒 810-0001

福岡市中央区天神 1-3-46
電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185
E-mail:byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp
URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

医療法人 済世会

河野病院

理事長 河野 正 美
院 長 今 泉 暢 登 志

〒 811-2431
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139
電 話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598
E-mail:info@kawano-hp.com
URL <http://www.kawano-hp.com/kawano/>



“地方の医療創生は田川から”

田川市立病院

田 川 市 齋 藤 貴 生
病院事業管理者
病 院 長 松 隈 哲 人

早良病院

院 長 梅 野 守 男

〒 819-0002
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 番 50 号
電 話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761
URL <http://www.sawara-hp.jp>

公立学校共済組合

九州中央病院

病院長 前 原 喜 彦

〒 815-8588
福岡市南区塩原 3 丁目 23 番 1 号
電 話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540
URL <http://kyushu-ctr-hsp.com>



福岡赤十字病院

日本赤十字社

院 長 寺 坂 禮 治

〒 815-8555
福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号
電 話 (092)521-1211 FAX (092)522-3066
URL <http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp>



医療法人 徳洲会

福岡徳洲会病院

院 長 海 江 田 令 次

〒 816-0864
福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地
電話 (092) 573-6622 FAX (092) 573-1733
URL <http://www.f-toku.jp>

日本郵政株式会社

福岡逋信病院

院長 津田 泰夫
副院長 和田 寛也

〒 810-8798

福岡市中央区薬院 2 丁目 6 番 11 号

電話 (092)741-0300 FAX (092)781-2563

URL <http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka>

国家公務員共済組合連合会

浜の町病院

病院長 一宮 仁

〒 810-8539

福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号

電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262

E-mail:info@hamanomachi.jp

URL <http://www.hamanomachi.jp>

公立八女総合病院

企業長 平城 守

〒 834-0034

福岡県八女市高塚 540 番地 2

電話 (0943)23-4131 FAX (0943)22-3185

E-mail:yame-general@yamehp.jp

社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

聖マリア病院

病院長 島 弘志

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422

電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115

URL <http://www.st-mary-med.or.jp/>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5

電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306

URL <http://www.st-mary-med.or.jp/>

医療法人社団桜珠会

可也病院

理事長 栗田 輝久
院長

〒 819-1314

糸島市志摩師吉 1200 番地

電話 (092)327-0131 FAX (092)327-5532

E-mail:kaya03@kayahospital.com

URL <https://kayahospital.com>

ほすびたる7月号をお届けします。

今月に入ってから豪雨は、各地に甚大な被害をもたらした。自然災害の恐さ、悲惨さをまざまざと見せつけられました。被災された皆様に、お見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、当協会では、石橋達朗先生が退任され、今月より、赤司浩一先生が会長に就任されました。当協会の運営にご尽力いただきました石橋前会長に深謝申し上げますとともに、赤司会長のもと、当協会がますます発展しますことを祈念しております。それと、編集委員会のメンバーにも変更がありました。長年編集委員を務められ、貴重なご意見をいただいております上野道雄先生が退任され、岩永知秋先生に交替されました。編集委員会も、気持ちを新たに頑張っていきたいと思っております。今後とも、会員の皆様の温かいご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

話は変わりますが、最近の書店には、カフェを併設しているところが増えているように見受けられます。購入した本、または未購入の本でも、コーヒーを飲みながら読めるようです。天神の大型書店では、カフェではないものの、顧客が座って本を読めるように、窓際にカウンター席が用意されています。まさに“立ち読み”ならぬ、“座り読み”

が堂々とできるわけです。ネット販売に対抗して、書店もいろいろと工夫をこらしていることが見取れます。でも、大切な本は、手元に置いてじっくりと読みたいものですね。故日野原重明先生は、より良い医師となるために、就寝前の30分に、いろいろな分野の本を読むことを医学生に勧めています。先生が敬愛するオスラー教授に倣ったもので、「医学生のためのベッドサイドライブラリー」と名付けています。W. オスラー「平静の心」、V.E. フランクル「それでも人生にイエスという」、神谷美恵子「生きがいについて」、夏目漱石「思い出することなど」、E. フロム「愛するということ」などを含む10冊の本が挙げられています（週刊医学界新聞、3242号、医学書院。ネットで見ることができます）。いずれも人生の指針となる素晴らしい書物で、医学生のみならず、多くの人々に読み継がれるべきライブラリーでしょう。さて、あなたのベッドサイドライブラリーには、どんな本が並んでいますか？ いろいろな愛読書があることでしょう。そして、その中には、きっと、「ほすびたる」も入っていますね。でも、一気に読みはしないでください。睡眠不足になります。なにせ、「ほすびたる」の面白さは、「半端ないって」。

（岡嶋泰一郎 記）

ほすびたる

第726号

平成30年7月20日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
URL http://www.f-kenbyou.jp

編集 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1
麻生ハウス3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…赤司 浩一

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…竹中 賢治

編集委員…平 祐二・澄井 俊彦
岩永 知秋・増本 陽秀
壁村 哲平・平野 礼子

第12回県民公開医療シンポジウム

入場無料

21世紀の
メンタルヘルス

日時

2018/8/25(土) 14:00~16:00

場所

福岡国際会議場 (定員400名)
〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1 (TEL 092-262-4111)
受付13:00 開場13:30医療法人社団益豊会今宿病院
理事長・院長

深堀 元文

プログラム

① 開会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 会長 九州大学病院 病院長

赤司 浩一

② シンポジウム

座長 医療法人社団益豊会今宿病院 理事長・院長

深堀 元文

福岡県精神医療センター太宰府病院 院長

小嶋 享二



講演 1

「うつ病について」

博多祇園メンタルクリニック 副院長

西浦 研志 先生



講演 2

「大人の発達障がいとは
～正しい理解と支援のために～」

福岡市精神保健センター 所長(精神科医師)

本田 洋子 先生



講演 3

「認知症は怖い? 怖くない?」

田北メモリーメンタルクリニック 院長

田北 昌史 先生

③ 質疑応答

公益社団法人福岡県病院協会 副会長
地方独立行政法人福岡市立病院機構 理事長
福岡市民病院 名誉院長

竹中 賢治

④ 閉会のことば

主催: 公益社団法人福岡県病院協会

後援: 福岡県、福岡市、(公社)福岡県医師会、(公社)福岡県薬剤師会、(公社)福岡県看護協会、(公社)福岡県栄養士会、(公社)福岡県診療放射線技師会、(公社)福岡県理学療法士会、(公社)福岡県作業療法協会、(一社)福岡県歯科医師会、(一社)福岡県臨床衛生検査技師会、(一社)福岡県私設病院協会、(一社)福岡県精神科病院協会、(一社)福岡県医療法人協会、(一社)福岡県精神神経科診療所協会、(一社)福岡市医師会、(一社)筑紫医師会、(一社)粕屋医師会、(一社)糸島医師会、(一社)宗像医師会、(一社)福岡県病院薬剤師会、福岡県精神保健福祉協会、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、日本経済新聞社西部支社、NHK福岡放送局、(株)福岡放送、RKB毎日放送、(株)テレビ西日本、九州朝日放送、TVQ九州放送(順不同)

公益社団法人を(公社)、一般社団法人を(一社)と省略させていただきます。

連絡先 公益社団法人福岡県病院協会

TEL:092-436-2312 FAX:092-436-2313

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
福岡県メディカルセンタービル 2階

(公社)福岡県病院協会とは...

昭和25年に設立され、「病院の経営管理の向上を図り、地域医療の普及向上と、県民の健康増進に寄与すること」を目的に、各種教育研修会などを実施しています。会員は、県下の4大学病院など、公私の250病院が加入しています。



ACCESS 電車でお越しの場合

- 地下鉄呉服町駅より 徒歩12分
- 西鉄天神駅より 徒歩22分
- 地下鉄中洲川端駅より 徒歩15分
- 地下鉄天神駅より 徒歩22分